

三和分校

PTAだより

福知山高校

三和分校PTA

令和5年

3月1日

祝 御卒業

「個を活かし、公に生きる」

校長 藤田 浩

PTA会員の皆様には、日頃から三和分校の教育活動に御理解・御協力をいただき誠にありがとうございます。

令和四年度卒業式を迎え、四年生の保護者の皆様には、お子様の御卒業、心よりお祝い申し上げます。大きく成長して卒業していくお子様を見られて、感慨もひとしおではないかと拝察いたします。

さて、新型コロナウイルス感染症も未だ終息が見られない中ではありますが、感染防止対策を講じながら、学びを止めないという観点から、できることから、できるように教育活動を行ってきました。そのような中で、両丹定通総体、体育祭、文化祭、芸術鑑賞と無事実施することができました。また、農業クラブや家庭クラブで地域と

連携している取組も少しずつですが実施することができました。様々な工夫をし、前向きに取り組んで楽しんでいる生徒たちの姿がとても印象的で、たくましさも感じた一年でした。

今年も農業クラブ連盟大会のプロジェクト発表や意見発表において、府大会で優秀な成績を収めたほか、「田舎力甲子園」での「キキヨウ根を利用して」については優秀賞を受賞し、高い評価をいただきました。また、念願の食品加工室(MVP)が完成し、加工品の製造・販売が可能となり、フードロス削減に向けて農業科と家政科がコラボした取組や地元食材を利用した本校独自の製品の開発に取り組みました。

これからの社会は、将来を見通すことが困難で、『正解のない』時代と言われ、そのような時代を力強く生き抜くためには、自分の意志・判断を持ち、責任を持って行動する「主体性」、色々なものがあること、変化に富んでいること、そのような色々な種類や傾向があ

ることを受け入れる「多様性」、異なる強みを持つ者が、共通の目標のために、責任と役割を分担し、ともに汗をかいて、成果を共有する「協働性」が求められています。すなわち「主体性を持って多様な人々と協働する力」が必要となります。

このような力を付けるために心がけてほしいことについて、これまでの式辞の中で、私が生徒の皆さんに話してきた一部を紹介いたします。

□ ① 困難に挑み、逆境にたじろがない勇氣、度胸 (Guts) ② 挫折から立ち直る力、復元力 (Resilience) ③ 率先して物事に取り組む力、自発性 (Initiative) ④ いろんなことがあっても物事に集中し続ける能力、執念 (Tenacity) の「G R I T」が必要。

□ 「今日も生涯の一日なり」、今日という日は何でもない一日のように見えるが、生涯の中でかけがえのない一日である。様々な困難に出くわしても、「自分はこうなるのだ」という「熱意」、逆風が吹いたときの「創意」、周囲の支えに感謝する「誠意」を大切に自らの学びを止めることなく取り組むこと。

□ 「運(巡り合わせ)・鈍(粘り強さ)・根(根気)」という言葉があります。古くから言い伝えられてきた、人が成功するために必須の3条件です。巡ってきた運を確かなものとし、好運に転じていく力が鈍・根にはある。

□ 「自分の可能性を信じなさい」自分の可能性はこんなもんだろうと小さく考えがちだが、他人はもっと高く評価してくれている。だから自分もつとでできるんだ。可能性があるんだ。

□ 「私はもう限界です」と言う人に、「限界ってどこにあるの？指さしてごらん」と言うと、はたと気がつきませす。限界を決めているのは自分なのです。

□ 大きな目標を持たなくてはなりません。けれどももう一つ日々の目標がいます。日々の目標とは、一歩前への努力が叶えられる目標。そんな小さな小さな目標にも、大きな目標と同じだけの価値はある。毎日毎日進化していくことが大事なんです。「1ミリの努力、1秒の努力」を積み重ねることが大事なんです。

卒業生の皆さん、三和分校で培った力を活かし、個(自らの良さ)

を活かし、公に生きる（社会に貢献する）人として、新たな場所でも活躍してくれることを期待しています。また、在校生は、引き続き学校生活を通して、それらの力を付けるべく努力をしてほしいと思います。

最後になりましたが、PTA役員の皆様をはじめ、保護者の皆様には大変お世話になり、感謝申し上げます。今後とも教職員一同、人間性豊かな生徒の育成を目指し、本校の教育推進に精一杯努力して参りますので、より一層の御理解・御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

「レッツ・ゴー」

四年生担任 田中 重則

卒業おめでとうございます。三和分校での四年間の課程を終え、皆さんそれぞれの道を自分の力で歩む日を今日迎えました。

「Let's Go!（とにかく前へ進みましょう）」。

そう、皆さんと出会う最初の日に、黒板に大きくこのタイトルを描きました。未来に向かって大きく羽ばたいて欲しい。過去を振り返らずに。私は、決意していました。皆さんの今を見つめ、手を取りながら前へ、輝く未来へ進み

いと。もしかしたら忌まわしい、ひよつとしたら消し去りたい昔のことがあっても、そのことに縛られず（私からすれば何の先入観も持たずピュアにひとりひとりを見つめる）そんな気持ちを心に抱き四月八日始業式を心待ちにしていました。始業式のホームルームの後、私に声をかけてくれた皆さん、ありがとうございます。不安で不安で仕方なかった私に屈託のない笑顔で接してくれましたね。

あれから一年近くの月日が、移り変わるここ三和の風景とともに流れていきました。

皆さんがこれから突き進む大海原には得体の知れない魔物が住んでいます。しかし安心して。つぎの二つのことを心に誓えばその難局は克服できるでしょう。

ひとつ。いつも誰かに、周りの人に感謝の気持ち。皆さんがこの世に生を受けてから常に皆さんをサポートする「誰か」がいたはず。もう気付いていますよね。

ふたつ。いつも心に太陽を。笑顔をやさず前向き思考になること。明るく朗らかに振る舞うこと。れば少々の事は何とかなります。このふたつ約束ですよ。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様の御卒業おめでとうございます。皆様のお力がなければここまで来られません。敬意を表さずにはいられません。あ

りがとうございます。そしてもう少しのお時間と労力をお子様注いでください。お願いいたします。

PTA会員より

「卒業おめでとうございます」

四年生保護者

四年間、よく通ってくれたなあと感心しています。通学方法もバス、電車、自転車、時間、ルートなど天候にあわせて選び、四年間通いましたね。

新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況の中、日常生活に大きな変化があり、学校行事、友人との交流にも困難な体験をしました。三和分校の自然に恵まれ、広い校舎でゆつくりと過ごすことができました。

キキョウの根の活用の研究に参加し、賞をいただき、さらに新聞まで載せていただきました。また、地域の皆様の御協力で生産物の販売もすることができました。皆さんのことを学び、体験したことは大きな財産です。

卒業生のみなさん、農業または家政の内容をじっくり学べたことは、これから生活していく上でも、人生の大切な力となることでしょう。

最後になりましたが、手厚い御指導をいただきました先生方、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。

「子どもの成長」

四年生保護者

卒業おめでとうございます。

「三和分校は自分のペースで学べる」という学校の特色は、子どもにピッタリだと思い、親子共々希望し入学を決めました。長時間のバスに乗れるのか、友達とは仲良くできるのか、親としてはいろんな心配をしましたが、学校に少しずつ慣れていきました。そして、自分のペースでコツコツと勉強したり、友達とのコミュニケーションを楽しんだりしている姿を行事の時に見るのができ、三和分校に入学させてよかったと思っております。

一日一日を大切にしてください。高校生と社会人では生活も変わり、大変なこともあると思います。毎日のわずかな差が人生にとつて大きな差となって現れてきます。卒業生みなさんは全日制の高校生より一年多く学んでいますから、きっと大丈夫。高校生活で学んだことを生かして歩んで下さい。そして、夢や希望に向かって、自分の

行動に責任をもち続ける人になっ
てほしいと思います。

最後になりましたが、今まで御
指導していただきました全ての先
生方にお礼を申し上げます。

卒業生の進路状況について

進路指導部長 宇野 佳代

P T A 会員の皆様には、生徒の
進路実現に向けての取組に御理解
と御協力を頂き、まことにあり
がとうございます。

今年度は二・三学期始業式の日
に「高校卒業後の進路」について
生徒に向けて話をしました。テ
ーマは「(三和分校で) ゆっくり学
んだ後、どうしますか?」です。こ
の問いかけに対してハツとしてい
る生徒やうつむいている生徒、う
なずいている生徒、遠くを見つめ
ている生徒、首を横に振っている
生徒など反応は様々です。個別に
声をかけると「わからん」、「四年
生になってから考える」、「勉強苦
手やから就職する」、「考えたくな
い」などの答えが返ってきます。
その一方で「将来〇〇になりたい
ので、卒業したら△△します」と
具体的に語る生徒もいます。
一人ひとり個性があるように、
進路決定についても生徒一人ひと

りのペースやタイミングがあるよ
うです。今年度卒業予定の四年生
でも、すでに進路が決まっている
生徒と就職試験に向けて取り組ん
でいる生徒がいます。(二月九日現在)

三和分校では自分の進路を「自
分で選ぶ」、「自分で決める」こと
に重点を置き、進路指導をしてい
ます。自分に何ができるのか、ど
んな人生を歩みたいと思っ
ているのか、自分自身をしっかりと見
つめることが進路のミスマッチ(進
学先や就職先が合わずに辞めてし
まうこと)を回避することにつな
がるからです。「自分」のことは「自
分」が一番よく知っていると考え
がちですが、意外と知らないもの
です。「自分を知る」ことは自分の
得意なことや長所だけでなく、苦
手なことや弱い部分を直視せざる
を得ないため、「辛く」、「しんどい」
作業です。また、かなりの時間を
要する作業です。高校卒業後、新
しいスタートラインに立つ生徒が
「自分には合わなかったので辞め
ました」、「もともと乗り気ではな
かったから辞めました」というミ
スマッチにならぬよう、「自分」の
ペースやタイミングでいいので、
勇気を出して「自分」を見つめて
欲しいと思います。
そして、「(三和分校で) ゆっく
り学んだ後、どうするのか(どん
な進路を選択するのか)」について
御家庭でも話題にしてください。

親子で考えていただきますよう、
よろしくお願いいたします。

各種表彰

・全国高等学校校定時制通信制教育
振興会表彰
多村 武留

・産業教育振興会中央会会長表彰
・全国農業高等学校長協会表彰
石本 和也

・京都府産業教育振興会会長表彰
大崎 葵 片山 若菜

・京都府立高等学校職業に関する専門
学科生徒京都府教育委員会教育長表彰
石本 和也 大崎 葵

塩見 柚乃 多村 武留

・京都府学校農業クラブ連盟会長表彰
大崎 葵

資格取得の状況

(十二月十七日以降の判明分)

・全国高等学校家庭科技術検定
・保育・造形表現技術三級

田中 美紅

・被服製作三級
向井 なな

諸活動より

令和四年度生徒総会・ 令和五年度新生徒会役員選挙

一月二十日(金)、体育館にて生
徒総会を行いました。生徒会役員
が行事報告や会計報告を分かりや
すく説明しました。

総会後に、令和五年度新生徒会
役員選挙を行い、各候補者が立会
演説で熱い思いを語りました。結
果、全員が信任されました。

令和五年度生徒会役員

◇会長 片岡 誠
◇副会長 鳥淵 篤司
◇議長 佐々木 奨
◇書記 田口 響
◇総務 上田 観菜
◇会計 芦田 恵弥子
細野 大翔
渡沢 進一朗

学習発表会

令和四年二月四日(土)、学習発
表会を開催しました。今年度は保
護者の方にも参観頂きました。初
めに、四年生がこれまで積み上げ

てきた研究成果を堂々と発表しました。今年度の研究テーマです。

- ① 農業科 「Balloon Flowerで夢を叶えよう」
- ② 家政科 「したるさかいにく食品ロス削減へのチャレンジ」

一年間かけて収集したデータや資料をわかりやすく自分たちの言葉でまとめ上げ、工夫を凝らして発表する四年生の姿は、下級生たちの素晴らしい見本となりました。

農業科は福知山市の花であるキョウを、家政科は食品ロス削減をとりあげ、自分たちの身近なところから課題を見つけ、考え、研究を進めていった様子がよくわかる発表でした。また、研究を通して学校外の方々ともつながり、生徒たちの世界が広がっていく様子も感じられました。

今年度は課題研究の発表に加え、ゼミ形式トライの発表も行い、それぞれの活動を交流し合いました。各ゼミのテーマは次の通りです。

- ③ 「三和のお話づくり隊」
- ④ 「日本の伝統的な遊び」
- ⑤ 「ビートルズ学」
- ⑥ 「タカハシゼミ」
- ⑦ 「自然と共に教室」
- ⑧ 「三和の野草・薬草調査隊」
- ⑨ 「時刻表で旅行プランをつくらう」
- ⑩ 「パイナップルケーキについて」

- ⑪ 「文字やマークで伝えたい!!」
- ⑫ 「創作ダンス」

ステージで発表するゼミ、作品展示するゼミ、ダンスを披露するゼミなど、どのゼミもオリジナリティあふれる発表でとても見ごたえがありました。課題研究発表も、ゼミの発表も、自分たちで学習を進めてきた達成感と満足感を感じるものとなりました。



第二回PTA総会協議議案の報告について

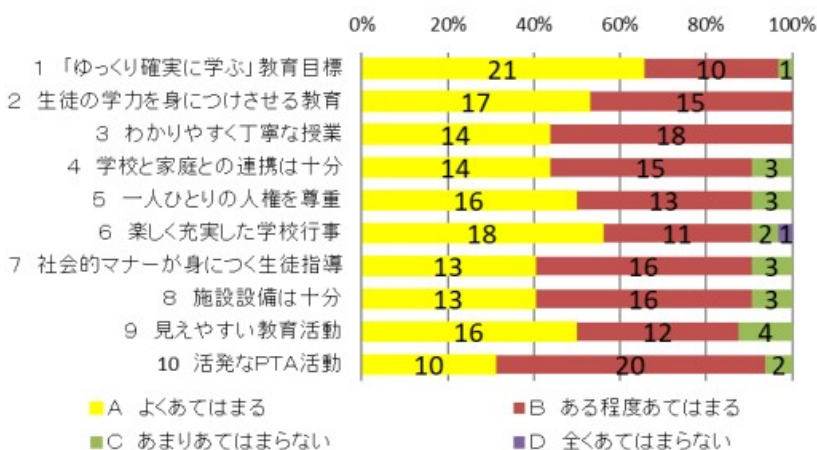
二月四日(土)、第二回PTA総会を開催しました。その結果、すべての議案に対して賛成をいただきました。この結果を基に、PTA活動を行っていきます。引き続きよろしく願います。

学校評価アンケートのまとめ

昨年十二月に保護者の皆さまに学校評価アンケートをお願いし、三十二名の方から回答がありました。御協力ありがとうございました。

次のグラフは本年度のものです。評価全体としては、大半の項目で肯定的意見がほぼ九割を占めており、私どもにとりましては日々の教育活動への励みとなりました。特に高評価の項目は、「1 ゆっくり確実に学ぶ教育目標」「2 生徒の学力を身につけさせる教育」「3 わかりやすい丁寧な授業」でした。昨年度、学校の様子が分からないうとの御意見をいただきました。本年度はホームページにおいて、日々の教育活動の様子を掲載するなど充実を図り、「分校だより」の発行回数を増やしました。結果、「9 見えやすい教育活動」の肯定

令和4年度学校評価アンケート(保護者) ※表中の数は実数(人)



的意見が昨年度と比較して増えました。また、「10 活発なPTA活動」も肯定的な意見が増えました。コロナの影響もありますが、少しずつ保護者参加の行事や研修会を増やした成果と考えます。同時期に、生徒に対しても学校評価アンケートを実施しております(質問項目は一部異なります)。これらの結果を今後の教育活動に生かし、本校の教育がさらに充実したものを目指し努力してまいります。今後とも、御理解・御協力をどうぞよろしく願います。